



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.77

令和3年3月11日

文責：校長 伊藤孝行

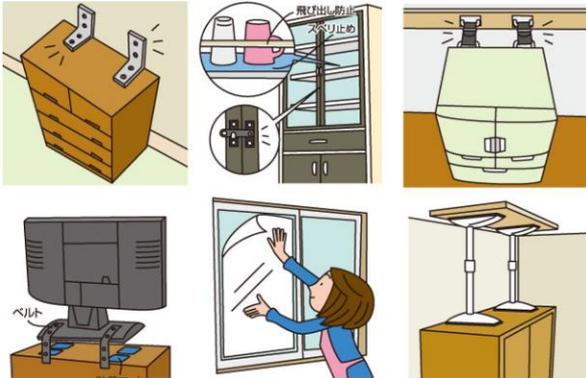
東日本大震災から10年になりました。

東日本大震災発生から10年目の3月11日を迎えました。もう10年、まだ10年、受け止め方は人それぞれのことと思います。

当時、日和田小学校も震災の被害が大きく、校舎の工事をするためプレハブを建てていました。

今日、学校では「いのちを考える日」として、亡くなった方に黙祷を捧げたり、地震や津波、原発事故のことを子どもたちに伝えたりしています。

2月13日（土）の夜に発生した地震も東日本大震災の「余震」でした。いつまた、大きな地震が発生するか予測はできません。



それぞれが、自分でできる「災害対策」に取り組み、少しでも被害が小さくなるようにしたいものです。

本当の空「智恵子抄」より



条件が良いと日和田小学校からは安達太良山が本当にきれいに見えます。

病気になった智恵子が生まれ故郷の安達太良山とその上の空を思っていたことを詠んだ詩に高村光太郎の「あどけない話」があります。

「あどけない話」

智恵子は東京には本当の空が無いといふ、
ほんとの空が見たいといふ。

私は驚いて空を見る。

櫻若葉の間に在るのは

切っても切れない

むかしなじみのきれいな空だ。

どんよりとけむる地平のぼかしは

うすももいろの朝のしめりだ。

智恵子は遠くを見ながら言ふ、

阿多多羅山の山の上に

毎日出てゐる青い空が

智恵子のほんとの空だといふ。

あどけない空のはなしである。

智恵子が思い続けていた「ほんとの空」を毎日のように見ることができるのは幸せなことです。

県立高校入学試験問題より（解答）

明日12日（金）は中学校の卒業式です。

4月からはそれぞれが選んだ進路で、新しい友だちや環境の中で、自己実現に向けて頑張ってほしいと思います。

【国語】

1. 漢字の読みや書きの問題

- ① 穏やかな天気（おだ）やか
- ② 大半を占める（し）める
- ③ 寡黙な人（かもく）
- ④ 詳細な報告（しょうさい）
- ⑤ 釣り糸をタらす（垂）らす
- ⑥ 本をカりる（借）りる
- ⑦ 研究のリョウイキ（領域）
- ⑧ フクザツな問題（複雑）

2. 慣用句の問題「正しくないものに○」

エ 大切な思い出を棚に上げる（○）

【数学】

1. 計算をしなさい

- ① $3 \times (-8) = -24$
- ② $\frac{1}{2} - \frac{5}{6} = -\frac{2}{3}$

2. 六角形の内角の和 = (720度)